

「公共図書館における障害者サービスの実施状況の調査」

調査票

A 図書館概要・施設・設備

問1 貴館について空欄にご記入ください。また、該当する選択肢の番号に○をつけてください。

| | |
|------------------------|--|
| 図書館名 ※正式名称をご記入ください。 | |
| 所在地 | 〒 (都道府県) |
| 開設年 | 西暦 年 |
| 設置母体 | 1 都道府県立 2 政令指定都市立 3 「2」以外の市立・区立 4 町村立 5 私立 6 その他 () |
| 貴館の位置づけ | 1 中央館 2 分館 3 図書室 4 その他 () |

問2 貴館の施設についてお尋ねします。下記のうち、設置されているもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|------------------|--|------------------------------|--|
| 1 身障者用トイレ | | 9 録音室 (録音専用) | |
| 2 オストメイト対応トイレ | | 10 緊急時用点滅ランプ (聴覚障害者のための警報装置) | |
| 3 出入り口のスロープ | | 11 案内の点字・拡大表示 | |
| 4 障害者用駐車場 | | 12 誘導チャイム (視覚障害者に入口を案内するもの) | |
| 5 障害者に配慮したエレベーター | | 13 磁気誘導ループ | |
| 6 車椅子 | | 14 その他 (※) | |
| 7 館内の点字ブロック | | | |
| 8 対面朗読室 | | | |

※「その他」について ()

問3 貴館の利用者用コンピュータ端末についてお聞きします。館内 OPAC とインターネットアクセス用のパソコンについて、次のうち備わっている機能・設備の全てに○をつけてください。

| | 画面や文字の拡大 | 音声で出力 | タッチパネル | 使いやすいキーボード | 車椅子用の高さ | 利用者用端末なし |
|------------|----------|-------|--------|------------|---------|----------|
| 1 館内 OPAC | | | | | | |
| 2 インターネット用 | | | | | | |

問 4 貴館の図書館ホームページで障害者に配慮していることがありますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

| | |
|--------------------------------|--|
| 1 音声ブラウザでも使いやすい工夫をしている | |
| 2 弱視者等のために文字の色や大きさ、背景色等に配慮している | |
| 3 簡易検索画面がある | |
| 4 障害者のための画面を別に作っている | |
| 5 ページ作りをシンプルにして誰もが使えるように配慮している | |
| 6 特に対応していない | |
| 7 ホームページがない | |
| 8 その他 (※) | |

※「その他」について ()

B 個人へのサービスの実施と利用者

問 5 貴館では、障害者のためのサービスを実施していますか。該当するものを 1 つ選んで○をつけてください。(障害者サービスの具体的内容は問 6 をご参照ください。)

| | | | |
|------|--|-----------|--|
| 1 はい | | 2 いいえ (※) | |
|------|--|-----------|--|

※「いいえ」の理由についてお書きください。

()

※「1 はい」を選択した場合、問 6 にお進みください。

※「2 いいえ」を選択した場合、問 34 (P14) にお進みください。

問 6 貴館では、障害者のために次のサービスを実施していますか。それぞれのサービスについて、実施していれば○、実施していなければ×でお答えください。制度化されていなくても実態があれば○としてください。実施している場合は、実利用者数（延べではなく実数）をご記入ください。

| サービス | 実施の有無 | 利用者数 |
|------------------------------|-------|------|
| 1 対面朗読 | | |
| 2 障害者サービス用資料（録音・点字資料など）の来館貸出 | | |
| 3 図書資料・視聴覚資料の郵送貸出 | | |
| 4 録音・点字資料の郵送貸出 | | |
| 5 その他の障害者サービス用資料の郵送貸出 | | |
| 6 宅配 (注 1) | | |
| 7 利用者対象の催しや研修 | | |
| 8 病院へのサービス (注 2) | | |
| 9 施設へのサービス (注 2) | | |
| 10 学校へのサービス (注 2) | | |
| 11 障害者サービス用資料（録音・点字資料など）の製作 | | |
| 12 その他 (※) | | |

(注 1)「宅配」とは職員等が資料を持っていくこと。宅配業者等による配達も郵送貸出に含める。

(注 2) 施設数ではなく、利用者数を記入してください。

※「その他」について ()

問7 貴館における障害者サービスの利用者の、障害別・年齢別の人数をご記入ください。

「その他」に記入された場合は、欄外に人数とその内訳を分かる範囲でご記入ください。下記と異なる区分で統計をとっている場合は、余白に記入してください。

※重複障害のある利用者や、複数のサービスを利用している利用者は、それぞれに計上してください。

※総数は必ずしも内訳の合計ではなく、実数としてください。

| | 全年齢 | 0～6歳 (乳幼児) | 7～15歳 (小中学生) | 16～22歳 | 23～64歳 | 65歳以上 |
|-------------|-----|---------------|-----------------|--------|--------|-------|
| 1 視覚障害者 | | | | | | |
| 2 聴覚障害者 | | | | | | |
| 3 肢体不自由者 | | | | | | |
| 4 内部障害者 | | | | | | |
| 5 知的障害者 | | | | | | |
| 6 精神障害者 | | | | | | |
| 7 学習障害者 | | | | | | |
| 8 入院患者 | | | | | | |
| 9 施設入所者 | | | | | | |
| 10 在宅療養者 | | | | | | |
| 11 高齢者(注1) | | | | | | |
| 12 被収容者(注2) | | | | | | |
| 13 その他(※) | | | | | | |
| 総数 | | | | | | |

(注1)「高齢者」とは図書館利用上の障害に対して何らかの支援を行った高齢者の数であり、一定年齢以上の利用登録者数を示すものではないとする。

(注2)「被収容者」とは刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院に収容されている者。

※「その他」について ()

問8 著作権法の改正やガイドライン(注)に合わせて新たなサービス等を検討していますか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

(注)ガイドラインとは「図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン」のことを指す。(参考URL: <http://www.jla.or.jp/20100218.html>。)

| | |
|---|--|
| 1 すでに新しいサービス・利用者の拡大などを行っている 具体的に () | |
| 2 検討している、検討予定である | |
| 3 以前から幅広い利用者へのサービスを実施しているので検討の必要がない | |
| 4 検討の予定はない 理由 () | |
| 5 著作権法の改正についてよく知らない | |
| 6 その他 具体的に () | |

C 対面朗読

※実施していない場合は、Dへお進みください。

問 9 対面朗読を実施しているサービスポイントの数を、施設の種類ごとにご記入ください。利用者宅については、数ではなく○か×でお答えください。

| 施設 | 数 | 施設 | 数 |
|--------------|---|-----------|---|
| 1 図書館 | | 3 利用者宅 | |
| 2 図書館以外の公共施設 | | 4 その他 (※) | |

※「その他」について ()

問 10 対面朗読の利用者数と実施した時間を、利用者の障害別にご記入ください。利用者数は、登録者数や延べ人数ではなく、実利用者数をご記入ください。

※重複障害のある利用者や、複数のサービスを利用している利用者は、それぞれに計上してください。

※総数は必ずしも内訳の合計ではなく、実数としてください。

| | 利用者数 | 時間 | | 利用者数 | 時間 |
|----------|------|----|---------------|------|----|
| 1 視覚障害者 | | | 8 入院患者 | | |
| 2 聴覚障害者 | | | 9 施設入所者 | | |
| 3 肢体不自由者 | | | 10 在宅療養者 | | |
| 4 内部障害者 | | | 11 高齢者 (注 1) | | |
| 5 知的障害者 | | | 12 被収容者 (注 2) | | |
| 6 精神障害者 | | | 13 その他 (※) | | |
| 7 学習障害者 | | | 総数 | | |

(注 1) 「高齢者」とは図書館利用上の障害に対して何らかの支援を行った高齢者の数であり、一定年齢以上の利用登録者数を示すものではないとする。

(注 2) 「被収容者」とは刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院に収容されている者。

※「その他」について ()

問 11 対面朗読は誰が行っていますか。人数は、延べ人数ではなく実人数をご記入ください。職員以外は、2009 年度の登録人数を記入してください。

| 種別 | 人数 | 種別 | 人数 |
|---------------|----|---------------------|----|
| 1 職員 | | 4 図書館に登録したグループのメンバー | |
| 2 図書館協力者 (注) | | 5 その他 (※) | |
| 3 個人登録のボランティア | | 総数 | |

(注) 「図書館協力者」とは図書館に個人登録した活動に応じた何らかの対価が支払われている人。(この調査では交通費のみの支払いも含む。)

※「その他」について ()

問 12 対面朗読の利用対象者について、該当するもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|------------------------------------|--|-------------------|--|
| 1 活字による読書に障害のある人全てを対象とし、それ以外の制限はない | | 3 障害者手帳所持を条件としている | |
| 2 障害の種類による制限がある | | 4 その他 (※) | |

※「その他」について ()

問 13 対面朗読の利用時間・回数などの制限がありますか。該当するもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|---------------|--|------------|--|
| 1 無制限に利用できる | | 3 曜日に制限がある | |
| 2 時間・回数に制限がある | | 4 その他 (※) | |

※「その他」について ()

問 14 対面朗読では、どのような資料を対象としていますか。該当するもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|------------------------|--|---------------|--|
| 1 図書館資料（相互貸借を含む） | | 4 私的な文書(手紙など) | |
| 2 持参資料(図書館資料になりうるもの) | | 5 その他(※) | |
| 3 持参資料（取扱説明書・パンフレットなど） | | | |

※「その他」について（ ）

問 15 対面朗読のために、図書館で送迎を行っていますか。該当するもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|-----------------|--|----------|--|
| 1 職員が行っている | | 3 行っていない | |
| 2 朗読(音訳)者が行っている | | 4 その他(※) | |

※「その他」について（ ）

D 個人貸出・相互貸借

※実施していない場合は、Eへお進みください。

問 16 次の資料の個人貸出を実施していますか。（他の図書館から借り受けた資料を含みます。）それぞれについて、実施していれば○、実施していなければ×をご記入ください。（実績がなくてもサービス体制がある場合は、○としてください。）実施している場合は、2009年度の貸出数をタイトル数でご記入ください。タイトル数が不明で巻点数が分かる場合は、巻点数をご記入ください。（タイトル数が分かる場合は巻点数は不要です。）

| 資料種別 | 実施の有無 | 個人貸出の貸出数 | |
|------------------------|-------|-----------|---------|
| | | タイトル数(注1) | 巻点数(注1) |
| 1 録音図書(テープ版) | | | |
| 2 録音図書(DAISY版) | | | |
| 3 録音雑誌(テープ版) | | | |
| 4 録音雑誌(DAISY版) | | | |
| 5 点字図書(冊子体) | | | |
| 6 点字図書(データ) | | | |
| 7 点字雑誌(冊子体) | | | |
| 8 点字雑誌(データ) | | | |
| 9 点字絵本(注2) | | | |
| 10 マルチメディア DAISY | | | |
| 11 大活字本 | | | |
| 12 拡大写本 | | | |
| 13 さわる絵本・布の絵本 | | | |
| 14 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本 | | | |
| 15 やさしく読める図書(LLブックなど) | | | |
| 16 障害者用字幕・手話入りビデオ | | | |
| 17 その他(※) | | | |

(注1)「タイトル数」とは原本となる書籍等の数。「巻点数」とは障害者用資料の数。例えば、1冊の本がカセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1、「巻点数」は5となる。

(注2) 点字絵本は活字の本に点字シールをつけたものを含む。

※「その他」について（ ）

問 17 次の資料について、図書館間の相互貸借を実施していますか。それぞれについて、実施していれば○、実施していなければ×をご記入ください。(実績がなくてもサービス体制がある場合は、○としてください。)他の図書館への貸出を実施している場合は、2009年度の貴館からの貸出数をタイトル数でご記入ください。タイトル数が不明で巻点数が分かる場合は、巻点数をご記入ください。(タイトル数が分かる場合は巻点数は不要です。)

| 資料種別 | 実施の有無 | 他の図書館への貸出数 | |
|------------------------|-------|------------|---------|
| | | タイトル数(注1) | 巻点数(注1) |
| 1 録音図書(テープ版) | | | |
| 2 録音図書(DAISY版) | | | |
| 3 録音雑誌(テープ版) | | | |
| 4 録音雑誌(DAISY版) | | | |
| 5 点字図書(冊子体) | | | |
| 6 点字図書(データ) | | | |
| 7 点字雑誌(冊子体) | | | |
| 8 点字雑誌(データ) | | | |
| 9 点字絵本(注2) | | | |
| 10 マルチメディア DAISY | | | |
| 11 大活字本 | | | |
| 12 拡大写本 | | | |
| 13 さわる絵本・布の絵本 | | | |
| 14 バリアフリー・ユニバーサルデザイン絵本 | | | |
| 15 やさしく読める図書(LLブックなど) | | | |
| 16 障害者用字幕・手話入りビデオ | | | |
| 17 その他(※) | | | |

(注1)「タイトル数」とは原本となる書籍等の数。「巻点数」とは障害者用資料の数。

※例えば、1冊の本がカセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1、「巻点数」は5となります。

(注2)「点字絵本」には活字の本に点字シールをつけたものを含む。

※「その他」について ()

問 18 次の資料の郵送貸出や宅配を実施していますか。(通常のカウンターでの貸出は含みません。)それぞれについて、実施していれば○、実施していなければ×をご記入ください。(実績がなくてもサービス体制がある場合は、○としてください。)実施している場合は、郵送貸出・宅配の数を、タイトル数でご記入ください。タイトル数が不明で巻点数が分かる場合は、巻点数をご記入ください。(タイトル数が分かる場合は巻点数は不要です。)

| 資料種別 | 郵送貸出 | | | 宅配 | | |
|----------------------|-------|----------|--------|-------|-------|-----|
| | 実施の有無 | タイトル数(注) | 巻点数(注) | 実施の有無 | タイトル数 | 巻点数 |
| 1 一般図書資料・大活字図書等冊子体資料 | | | | | | |
| 2 市販テープ・CD | | | | | | |
| 3 市販ビデオテープ・DVD | | | | | | |
| 4 その他(※) | | | | | | |

(注)「タイトル数」とは原本となる書籍等の数。「巻点数」とは、障害者用資料の数。

※例えば、1冊の本がカセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1、「巻点数」は5となります。

※「その他」について ()

問 19 郵送や宅配で経費がかかるような場合、その費用は誰が負担していますか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

| | |
|--------------------------|--|
| 1 経費のかかるようなサービスは実施していない。 | |
| 2 往復とも図書館が料金を負担している。 | |
| 3 片道分の料金を図書館が負担している。 | |
| 4 往復とも利用者が料金を負担している。 | |
| 5 その他 (※) | |

※「その他」について ()

E 蔵書・資料製作

※所蔵・製作実績がない場合は、Fへお進みください。

問 20 障害者向けの資料の所蔵・製作の状況についてお聞きします。次の資料のそれぞれについて、所蔵・製作の数をタイトル数で記入してください。雑誌・新聞は、「タイトル数」「種数」の両方を記入してください。タイトル数・種数が不明で、巻点数のみ分かる場合は、巻点数をご記入ください。(タイトル数・種数が分かる場合は巻点数は不要です。)

| 資料種別 | 全所蔵 | | | 全所蔵のうち自館製作 | | |
|----------------------------|------------|---------|----------|------------|----|-----|
| | タイトル数 (注1) | 種数 (注2) | 巻点数 (注1) | タイトル数 | 種数 | 巻点数 |
| 1 録音図書 (テープ版) | | | | | | |
| 2 録音図書 (DAISY 版) | | | | | | |
| 3 録音雑誌・新聞 (テープ版) | | | | | | |
| 4 録音雑誌・新聞 (DAISY 版) | | | | | | |
| 5 点字図書 (冊子体) | | | | | | |
| 6 点字図書 (データ) | | | | | | |
| 7 点字雑誌・新聞 (冊子体) | | | | | | |
| 8 点字雑誌・新聞 (データ) | | | | | | |
| 9 点字絵本 (注3) | | | | | | |
| 10 字幕・手話入りビデオ (注4) | | | | | | |
| 11 マルチメディア DAISY | | | | | | |
| 12 大活字本 | | | | | | |
| 13 拡大写本 | | | | | | |
| 14 さわる絵本・布の絵本 | | | | | | |
| 15 やさしく読める図書 (LLブックなど) | | | | | | |
| 16 バリアフリー・ ユニバーサルデザイン絵本 | | | | | | |
| 17 その他 (※) | | | | | | |

(注) については次ページを参照。

※「その他」について ()

| 資料種別 | 2009 年度年間増加 | | | 2009 年度年間増加のうち 自館製作 | | |
|----------------------------|-----------------|-------------|--------------|------------------------|----|-----|
| | タイトル 数 (注 1) | 種数 (注 2) | 巻点数 (注 1) | タイトル 数 | 種数 | 巻点数 |
| 1 録音図書 (テープ版) | | | | | | |
| 2 録音図書 (DAISY 版) | | | | | | |
| 3 録音雑誌・新聞 (テープ版) | | | | | | |
| 4 録音雑誌・新聞 (DAISY 版) | | | | | | |
| 5 点字図書 (冊子体) | | | | | | |
| 6 点字図書 (データ) | | | | | | |
| 7 点字雑誌・新聞 (冊子体) | | | | | | |
| 8 点字雑誌・新聞 (データ) | | | | | | |
| 9 点字絵本 (注 3) | | | | | | |
| 10 字幕・手話入りビデオ (注 4) | | | | | | |
| 11 マルチメディア DAISY | | | | | | |
| 12 大活字本 | | | | | | |
| 13 拡大写本 | | | | | | |
| 14 さわる絵本・布の絵本 | | | | | | |
| 15 やさしく読める図書 (LL ブックなど) | | | | | | |
| 16 バリアフリー・ ユニバーサルデザイン絵本 | | | | | | |
| 17 その他 (※) | | | | | | |

(注 1) 「タイトル数」とは原本となる書籍等の数。「巻点数」とは障害者用資料の数。

※例えば、1冊の本がカセットテープ 5 巻となった場合、「タイトル数」は 1、「巻点数」は 5 となります。

※月刊誌なら「タイトル数」は 12 と号の数で数えてください。

(注 2) 雑誌・新聞の「種数」とは雑誌名・新聞名。月刊誌や週刊誌でも年間 1 と数える。

(注 3) 「点字絵本」には活字の本に点字シールをつけたものを含む。

(注 4) 「字幕・手話入りビデオ」とは特に障害者用にガイドや手話をつけたもので、一般の字幕付洋画ビデオは含まない。DVD も含む。

※「その他」について ()

問 21 資料製作を行っている館にお尋ねします。製作は誰が行っていますか。それぞれの資料について、担当者の種別ごとにその人数をご記入ください。（複数の作業に携わっている人は、それぞれに計上し、総数欄は実数としてください。）「業者委託」については、人数ではなく○を記入してください。

| | 職員 | 図書館協力者 (注1) | 個人登録のボランティア | 図書館に登録したグループのメンバー | 業者委託 (注2) | その他 (※) |
|-----------------|----|----------------|-------------|-------------------|--------------|------------|
| 1 音訳 | | | | | | |
| 2 DAISY の編集 | | | | | | |
| 3 点訳 | | | | | | |
| 4 字幕・手話つきビデオ | | | | | | |
| 5 マルチメディア DAISY | | | | | | |
| 6 拡大写本 | | | | | | |
| 7 さわる絵本・布の絵本 | | | | | | |
| 8 その他 (※) | | | | | | |
| 総数 | | | | | | |

(注1)「図書館協力者」とは図書館に個人登録した活動に応じた何らかの対価が支払われている人。(この調査では交通費のみの支払いも含む)。

(注2)「業者委託」とは資料製作の作業について委託契約を結んでいる場合の委託を指す。

※例えばカウンター業務委託や指定管理者制度等の一部として委託されている場合のサービス従事者は、「職員」に計上します。

※「その他」について ()

問 22 蔵書にしない資料製作（個人利用者へのプライベート製作など）を行っていますか。該当するもの全てに○をつけてください。

| | | | |
|---------|--|-----------|--|
| 1 音訳 | | 4 墨字訳（代筆） | |
| 2 点訳 | | 5 実施していない | |
| 3 文字の拡大 | | 6 その他 (※) | |

※「その他」について ()

F 病院・施設・学校へのサービスの実施と利用状況

※実施していない場合は、Gへお進みください。

問23 貴館では、次の施設等を対象としたサービスを実施していますか。それぞれについて、実施していれば○、実施していなければ×をご記入ください。実施している場合は、施設種別ごとに対象施設の数と、個人貸出の登録者数・貸出冊数、団体貸出の貸出冊数・貸出方法について記入してください。団体貸出の貸出方法は下から選んで、その記号を表に記入してください。

施設貸出の方法（該当するものは下欄の「貸出方法」に複数記入して下さい）

- A. 図書館職員が施設内を巡回 E. 施設内で活動するボランティアに団体貸出
 B. 図書館職員が施設内の一定の場所で貸出 F. 施設にボランティアを派遣
 C. 施設内の図書室などに貸出 G. 個人に郵送貸出（宅配便も含む）
 D. 施設に自動車図書館のステーション H. その他（具体的に： _____）

| | 実施の有無 | 2009年度の 対象 施設数 | 個人貸出 | | 団体貸出 | |
|----------------|-------|----------------------|------|------|--------------|--------------------|
| | | | 登録者数 | 貸出冊数 | 団体への 貸出冊数 | 貸出方法（上の A～Hを記入） |
| 1 病院 | | | | | | |
| 2 特別養護老人ホーム | | | | | | |
| 3 老人保健施設 | | | | | | |
| 4 障害者施設 | | | | | | |
| 5 盲学校（特別支援学校） | | | | | | |
| 6 ろう学校（特別支援学校） | | | | | | |
| 7 養護学校（特別支援学校） | | | | | | |
| 8 小中高校（注1） | | | | | | |
| 9 矯正施設（注2） | | | | | | |
| 10 その他（※） | | | | | | |

（注1）「小中高校」には通常学級、通級指導教室、特別支援学級全てを含む。

（注2）「矯正施設」とは刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院の総称。

※「その他」について（ _____ ）

問24 それぞれの施設等において、資料貸出以外のサービスを実施している場合は、その内容をご記入ください。サービスの担い手・実施回数・参加者数なども分かる範囲で記入してください。

| | |
|----------------|--|
| 1 病院 | |
| 2 特別養護老人ホーム | |
| 3 老人保健施設 | |
| 4 障害者施設 | |
| 5 盲学校（特別支援学校） | |
| 6 ろう学校（特別支援学校） | |
| 7 養護学校（特別支援学校） | |
| 8 小中高校（注1） | |
| 9 矯正施設（注2） | |
| 10 その他（※） | |

（注）については問23を参照。

※「その他」について（ _____ ）

G 職員体制 （委託・指定管理先の職員も含みます。）

問 25 貴館で障害者サービスを担当する職員の人数をご記入ください。（2010年4月1日現在。）非常勤職員や臨時職員は年間1500時間を1人に換算し、小数点以下は第2位で四捨五入してください。図書館協力者やボランティアは含みません。

| 種別 | 人数 |
|------|----|
| 1 専任 | |
| 2 兼任 | |

問 26 貴館には、点字・手話のできる職員がいますか。いらっしゃる場合は、それぞれ人数をご記入ください。（2010年4月1日現在。いない場合は0とご記入ください。）視覚障害のある職員や手話を第一言語とする職員も含みます。非常勤職員や臨時職員は勤務時間に関係なく数えてください。

（注）点字は、基礎的な規則を理解し、利用者短い手紙をやりとりできる程度とします。手話は、カウンターでの簡単な接遇ができる程度とします。手話の種類は問いません。

| 種別 | 人数 |
|---------|----|
| 1 手話（※） | |
| 2 点字 | |

※手話のできる職員がいる場合、利用者からすぐ分かるように何か工夫をしていましたら具体的にご記入ください。

（ ）

問 27 貴館に障害のある職員がいらっしゃれば、正規・非正規別に人数をご記入ください。（2010年4月1日現在。）従事している業務は問いません。重複障害のある職員は内訳ではそれぞれに計上し、総数は実数としてください。「その他」に記入された場合、下の余白に具体的内容と数を記入してください。（指定管理機関の職員についても同様に指定管理機関の正規・非正規で考えてください。）

※この間の回答については、統計的に処理し、公表は行いません。

| | 総数 | 視覚障害者 | 聴覚障害者 | 肢体不自由者 | 内部障害者 | 知的障害者 | その他（※） |
|-------|----|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 1 正規 | | | | | | | |
| 2 非正規 | | | | | | | |

※「その他」について（ ）

問 28 職員を対象とする障害者サービスに関する研修を実施している場合は、その内容を具体的にご記入ください。

| | |
|--------|--|
| 1 館内研修 | |
| 2 外部研修 | |
| 3 その他 | |

H その他

問 29 障害者サービス用の機器についてお聞きします。所有している機器について、その用途ごとに○をご記入ください。メーカー名・機種名等についても、可能であれば、分かる範囲で記入してください。「その他」の機器がある場合は、余白に具体的内容をご記入ください。

| | 館内 利用用 | 利用者 貸出用 | 協力者 貸出用 | 自館 業務用 | メーカー名・機種名等 |
|-----------------------------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|
| 1 拡大鏡（機種不要） | | | | | |
| 2 拡大読書機 | | | | | |
| 3 利用者用点訳パソコン | | | | | |
| 4 点字ピンディスプレイ | | | | | |
| 5 点字タイプライター | | | | | |
| 6 点訳ソフト | | | | | |
| 7 点図ソフト | | | | | |
| 8 点字プリンター | | | | | |
| 9 点字製本機 | | | | | |
| 10 立体コピー機 | | | | | |
| 11 録音用デッキ | | | | | |
| 12 ダブルデッキ | | | | | |
| 13 高速ダビング機（テープ） | | | | | |
| 14 CD コピー機 | | | | | |
| 15 デジタル録音機 | | | | | |
| 16 音訳パソコン | | | | | |
| 17 DAISY 再生機 | | | | | |
| 18 DAISY 録音再生機 | | | | | |
| 19 DAISY 録音編集ソフト | | | | | |
| 20 マルチメディア DAISY 編集ソフト | | | | | |
| 21 オーディオキャプチャー （オーディオインターフェース） | | | | | |
| 22 音声読書機 | | | | | |
| 23 その他（※） | | | | | |

※「その他」について（ ）

問 30 電話やファクス・Eメールを使って、障害に配慮したサービスを実施されている場合は、その対象者と内容をご記入ください。

| 対象者 | 具体的な内容 |
|-----|--------|
| | |
| | |
| | |

問 31 パソコン指導、点字指導、手話によるおはなし会など、障害者サービス関連の催しや利用者対象の研修を実施されていたら、その内容について具体的にご記入ください。

| |
|--|
| |
|--|

問 32 障害者サービス関連でPR用に作成しているものがありますか。次のうち、あてはまるもの全てに○をつけてください。(作成していない場合は、6に○をつけてください)。

| | 活字版 | 音声版 (注) | 点字版 |
|-----------------|-----|---------|-----|
| 1 利用案内 (一般) | | | |
| 2 所蔵音訳図書目録 | | | |
| 3 所蔵点字図書目録 | | | |
| 4 図書館報の音訳・点訳 | | | |
| 5 障害者サービス独自のPR誌 | | | |
| 6 作成していない | / | / | / |
| 7 その他 (※) | | | |

(注) 音声版はテープ版、DAISY版を含む。

※「その他」について ()

問 33 設問に対する回答については、すべて統計的に処理した集計結果を国立国会図書館のウェブサイトで公開します。また、障害者サービスの取組み事例に関する情報共有の促進のため、障害者サービスを実施されている館については、ご承諾を得られた場合、回答内容を館名とともにウェブサイトに掲載したいと考えております。貴館名を公表することについてはどう思われますか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

| | | | |
|---------|--|----------------|--|
| 1 全部公開可 | | 2 一部を除き公開可 (※) | |
| 3 公開不可 | | | |

※公開不可の設問をお書きください。

()

問 34 障害者サービスについて、疑問・困っていること・考えていること等がありましたら、自由にお書きください。

| |
|--|
| |
|--|

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。